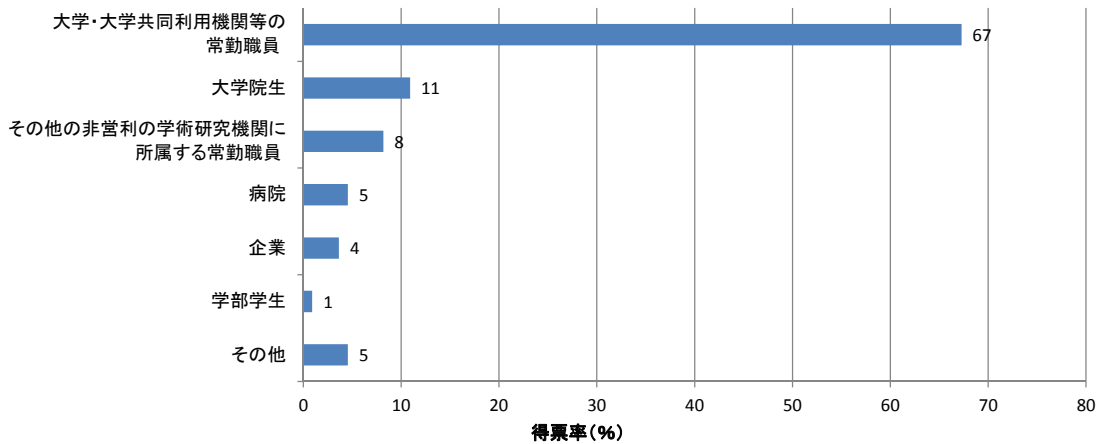


2013年度包括脳ネットワーク・ワークショップアンケート

回答者数 紙:85名 WEB:24名 — 合計109名

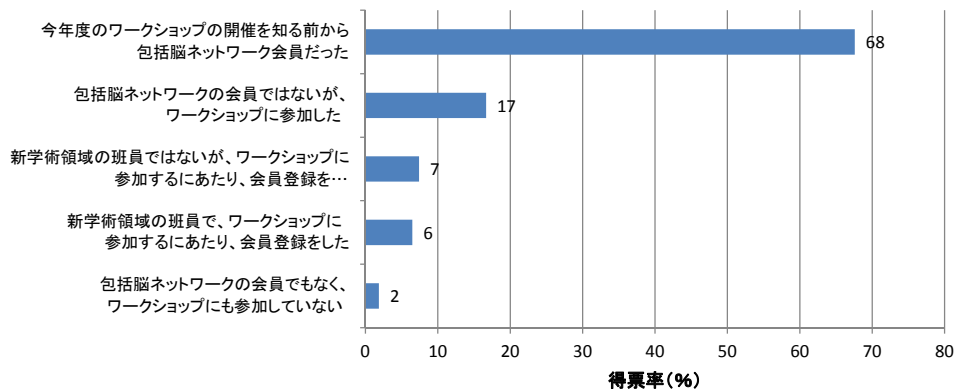
質問1: あなたの所属を教えてください



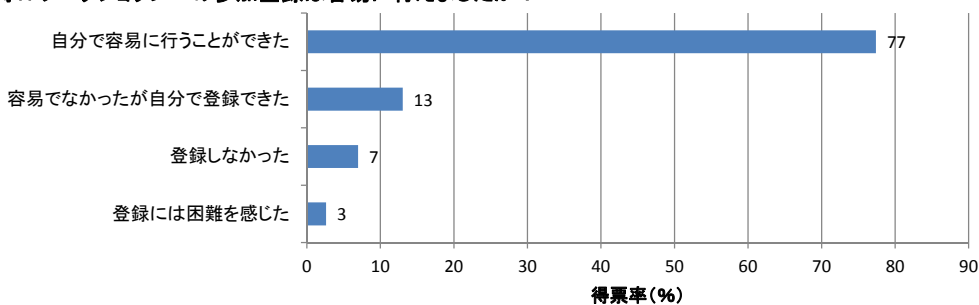
質問2: 質問1でその他とお答えいただいた方は、所属の種類をお答え下さい。

行政機関(障がい福祉)、研究機関の非常勤職員、独法研究所 研究員、海外滞在

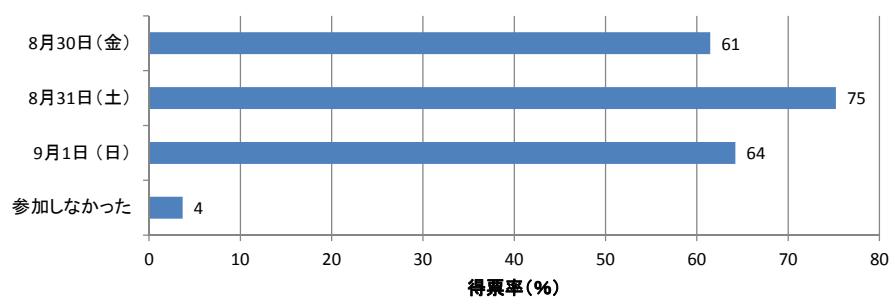
質問3: 包括脳ネットワークへの会員登録についてお答えください



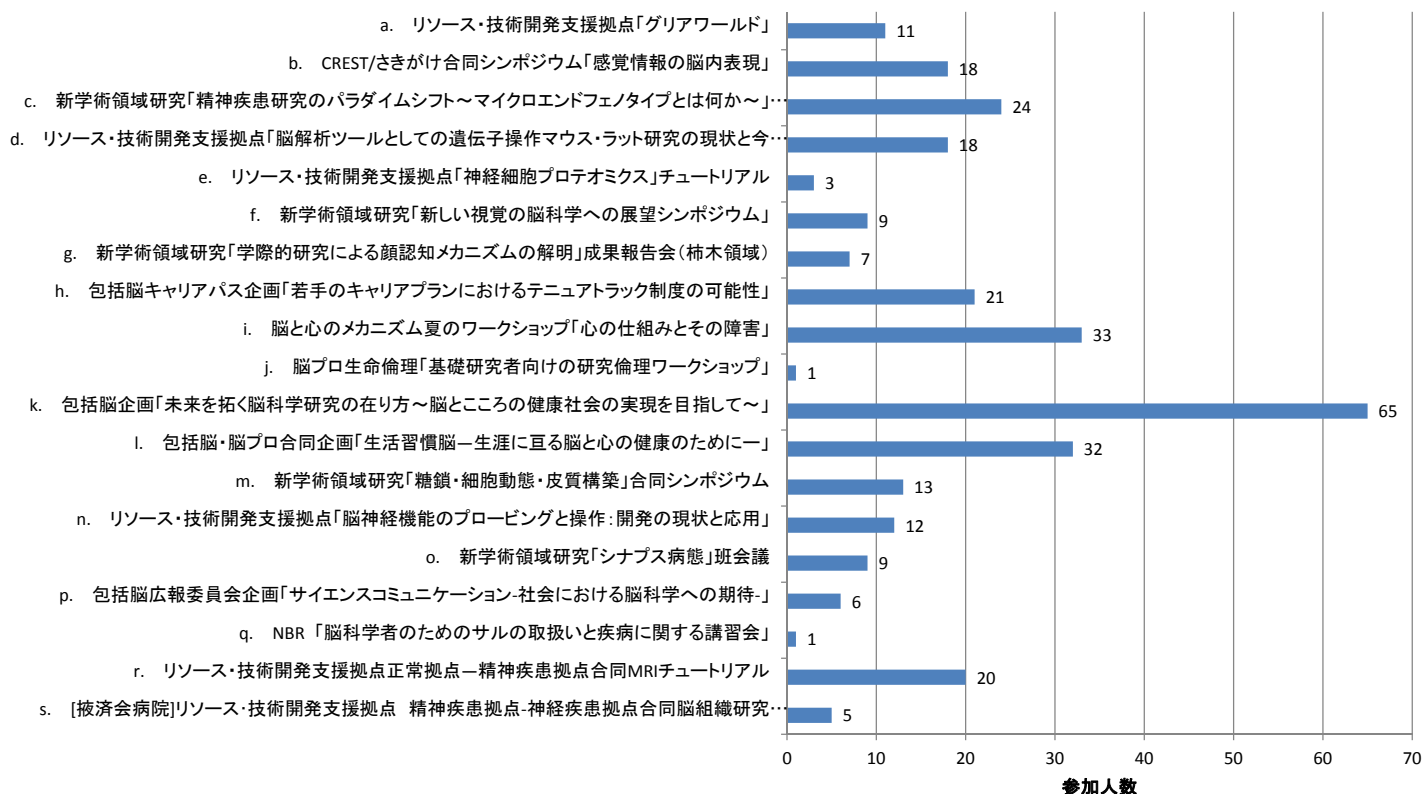
質問4: ワークショップへの参加登録は容易に行えましたか?



質問5: 実際に参加した日程をお答えください。

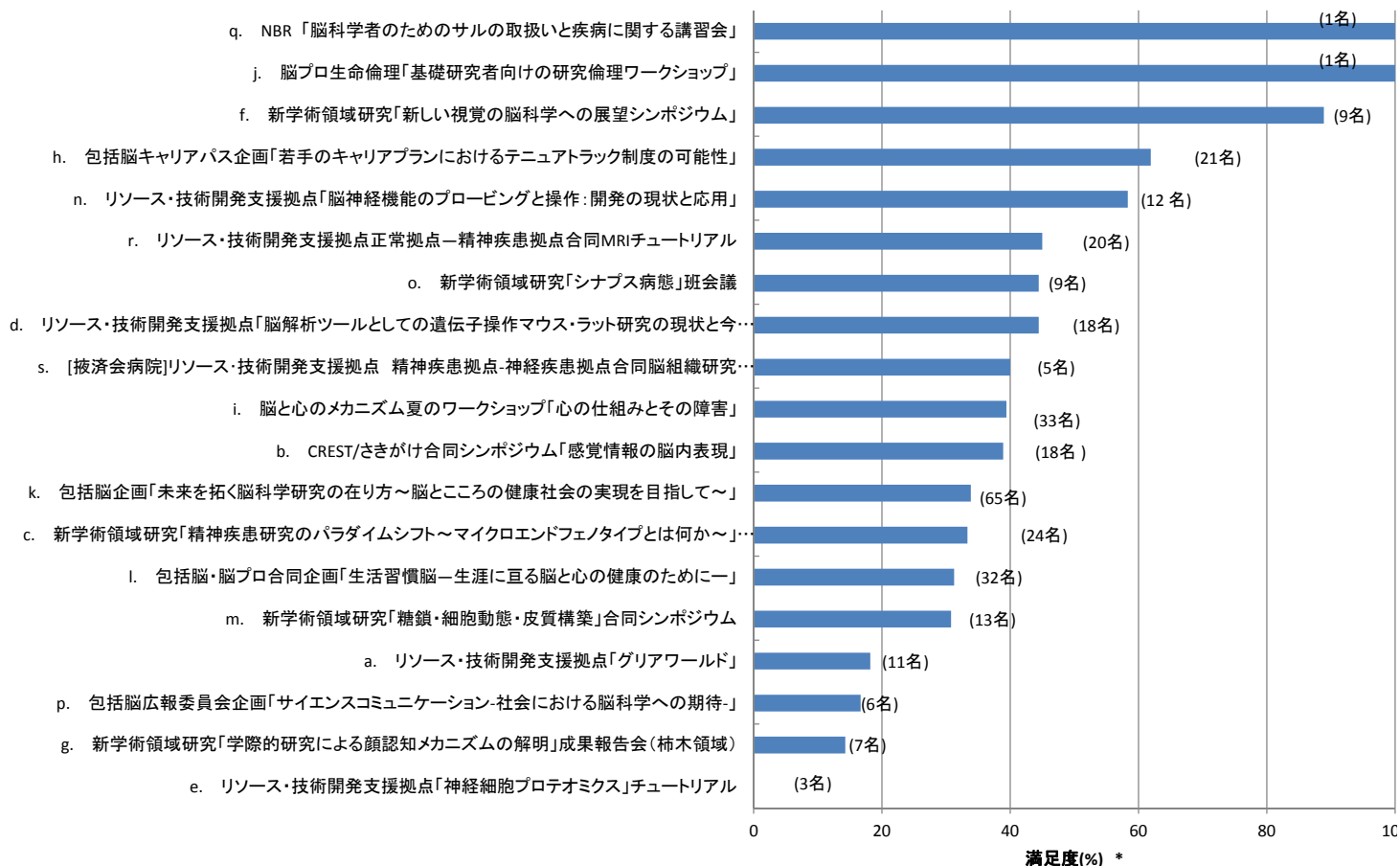


質問6:どのイベントに実際に参加しましたか



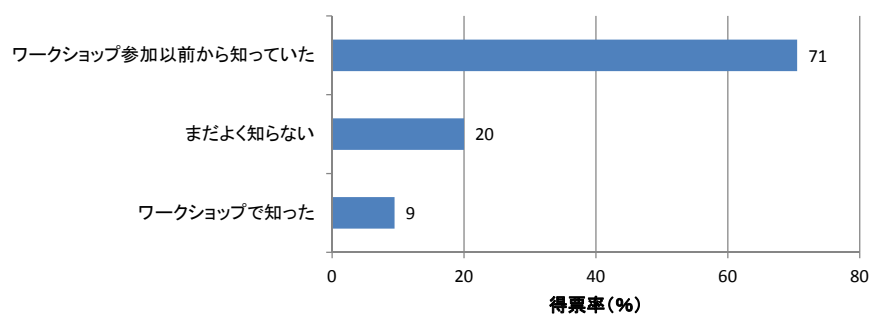
質問7:有意義と思われたイベントはどれでしたか。

(名) = イベント参加人数

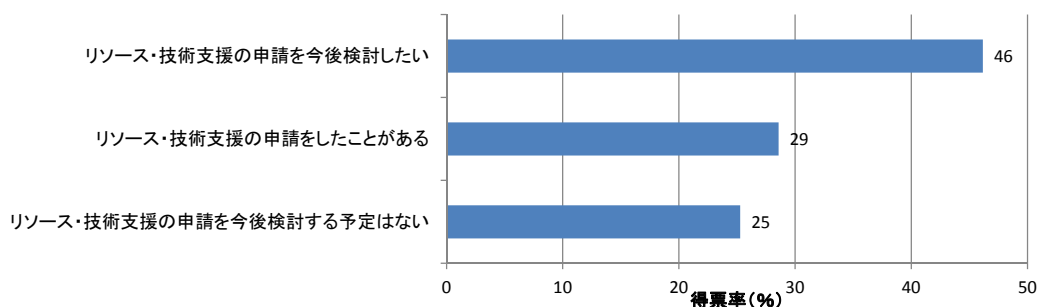


*満足度=(有意義と思った人数)/(イベント参加人数)X100

質問8: 包括脳ネットワーク総括支援およびリソース・技術支援活動についてお答えください。



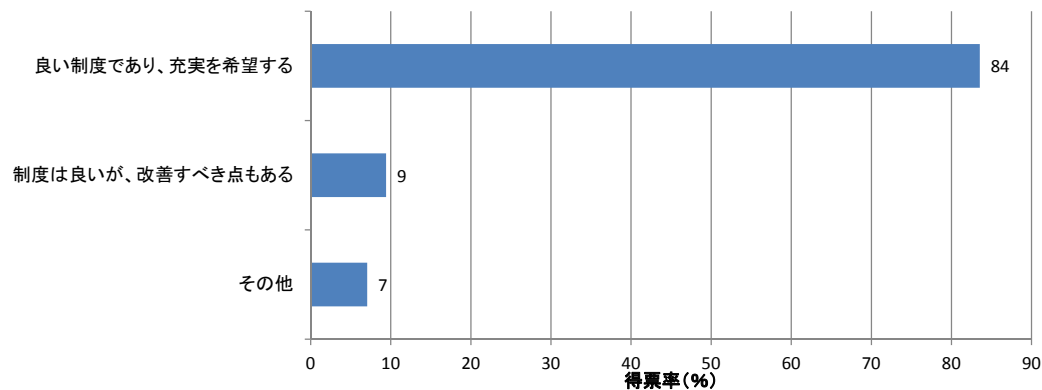
質問9: 包括脳ネットワークのリソース・技術開発支援活動についてお答えください。



質問10: 包括脳ネットワーク総括支援およびリソース・技術支援活動に関して何かご意見・ご感想があればご記入下さい。

・登録がやや煩雑

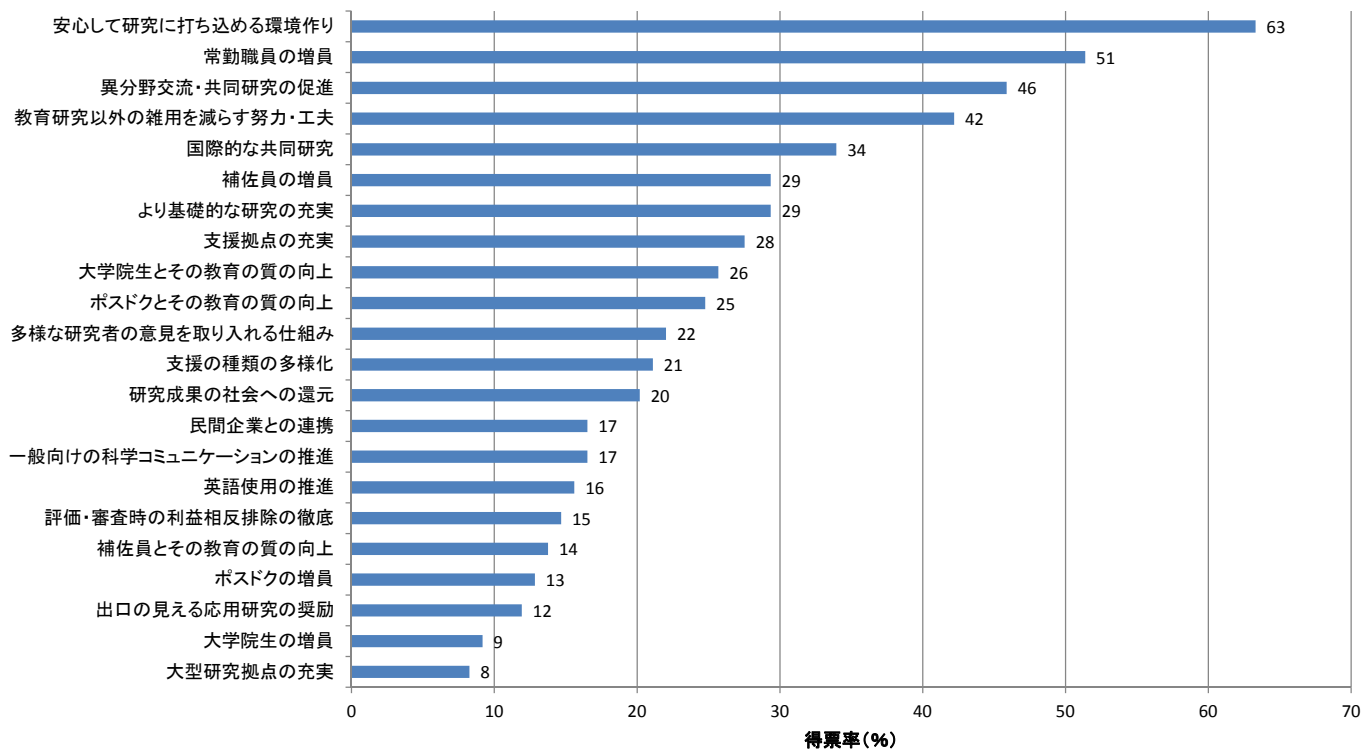
質問11: 「若手優秀発表賞」についてお答えください。



質問12: 「若手優秀発表賞」についてのご意見がありましたらご記入下さい。

- ・必要ない、なくしても良いのでは
- ・今回の懇親会での表彰式に受賞者が多数出席したことはよかった。
- ・若手研究者の意欲を高める企画だと思うので、
(賞金が用意できなくても) 今後もぜひ続けてほしい。
- ・受賞者があまりにも多すぎるため、価値が低く感じてしまいました。
若手のはげみになっているのならよいのではないのでしょうか
(身近では、どうせ直前にいいところに論文がのったポスターが選ばれるし、、、というさめた意見も聞いています)
- ・ポスター発表会場でラボの秘密のデータを聞き出そうとし、それに答えなければ、失敗したなど捨て台詞を放った先生がいらっしゃいました。せこいなと言うのと同時に恐怖を感じました。

質問13: 脳科学研究をこれから更に推進するために必要な要素はどれでしょうか(複数回答可)。



質問14: 脳科学研究の将来の発展に重要と思われる要素について自由にご意見をお書きください。

- ・今年度の集会は4日間となり、長過ぎるようになりました
- ・海外での日本人のネットワークづくり。
- ・質問19, 大学教員(PI)の姿勢に対する項目が無かったのが気になりました。
大学教員が常に研究・大学院生の教育に対する熱意および大学院生・ポスドクのキャリアに対する配慮を失わないことも非常に重要であると考えております。
- ・質の高い教育の推進。
- ・再雇用制度の充実。
- ・公務員のボーナスを廃止して給料を上げる。
- ・いろいろな職種、働き方の多様性。
- ・研究歴(職業歴)に合わせた給料の増加または能力給。
- ・結果の出せない常勤の解雇制度。結果の出ない常勤職員の下から? %は強制的に解雇。
- ・安定的に雇用するために5年での終身雇用制度移行への廃止。